

平成27年国勢調査

従業地・通学地による集計結果の概要

(人口・就業状態等)

平成27年国勢調査の結果は、既に第1次集計(人口・世帯数)、第2次集計(労働力状態・就業者)及び移動人口集計(人口の転出入)の集計値が平成29年4月までに既に公表されているが、従業地・通学地による人口・就業状態等集計が公表された。

1 公表日時 平成29年6月28日公表

2 用語の解説

(1) 夜間人口(常住地による人口)

調査時に調査の地域に常住している人口

(2) 昼間人口(従業地・通学地による人口)

従業地・通学地集計の結果を用いて、次により算出された人口

※【例】A町の昼間人口 = A町の夜間人口 - A町からの流出人口 + A町への流入人口

A町からの流出人口 …… A町からA町以外へ通勤・通学者数
A町への流入人口 …… A町以外からA町への通勤・通学者数

※ただし、昼間人口には買物客などの非定常的な移動は含まれない。

(3) 昼夜間人口比率

夜間人口100人当たりの昼間人口の割合であり、100を上回っているときは流入人口が超過していることを示し、100を下回っているときは流出人口が超過していることを示している。

(4) 通勤・通学人口

自宅外で従業している15歳以上従業者の人口と学校(予備校などの各種学校、専修学校を含む)に通っている15歳以上通学者の人口

3 統計表上の注意

(1) 市区町村の境域は、調査日(平成27年10月1日)現在の境域による。

(2) 「-」は該当数字がないもの、「0.0」は単位未満の数を示す。

(3) 割合を示す数値は、単位未満を四捨五入のため、総数と合計が一致しない場合がある。

4 主な集計結果の公表(今後の予定時期)

- | | |
|------------------------------------|--------------|
| ① 移動人口の小地域集計(5年間住居移動者) | 平成29年7月公表予定 |
| ② 世帯構造基本集計
(父子・母子、親子同居、従業・通学世帯) | 平成29年9月公表予定 |
| ③ 抽出詳細集計(産業・職業中分類) | 平成29年12月公表予定 |
| ④ 従業地・通学地による抽出詳細集計 | 平成29年12月公表予定 |

1. 従業地・通学地別人口

15歳以上の就業者・通学者は7,773人、前回比686人（▲8.1%）減少

15以上の就業者及び通学者は7,773人であり、前回調査比686人（▲8.1%）減少している。そのうち就業者は7,037人で前回調査比636人（▲8.3%）減少しており、通学者は736人で前回調査比50人（▲6.4%）減少している。

他市区町村へ通勤及び通学している者は1,858人で、就業者・通学者全体の23.9%となっているが、前回調査比189人（▲9.2%）減少している。

表1 従業地・通学地別人口、15歳以上就業者数及び通学者数

従業地・通学地	実数（人）			割合（%）			割合比較	
	平成27年	平成22年	平成17年	平成27年	平成22年	平成17年	平成27年	平成22年
◎就業者・通学者総数	7,773	8,459	9,620	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
○自宅で就業	635	708	810	8.2	8.4	8.4	▲0.2	0.0
○通勤・通学者	7,040	7,747	8,810	90.6	91.6	91.6	▲1.0	0.0
・自市町村内	5,182	5,700	6,757	66.7	67.4	70.3	▲0.7	▲2.9
・他市区町村	1,858	2,047	2,053	23.9	24.2	21.3	▲0.3	2.9
（道内）	1,822	2,030	2,049	23.4	24.0	21.3	▲0.6	2.7
（道外）	36	17	4	0.5	0.2	0.0	0.3	0.2
○従業地・通学地不詳	98	4	—	1.2	0.0	—	1.2	0.0
●就業者総数	7,037	7,673	8,772	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
○自宅で従業	635	708	810	9.0	9.2	9.2	▲0.2	0.0
○通勤者	6,311	6,961	7,962	89.7	90.8	90.8	▲1.1	0.0
・自市区町村内	4,803	5,295	6,301	68.3	69.1	71.9	▲0.8	▲2.8
・他市区町村	1,508	1,666	1,661	21.4	21.7	18.9	▲0.3	2.8
（道内）	1,479	1,650	1,657	21.0	21.5	18.9	▲0.5	2.6
（道外）	29	16	4	0.4	0.2	0.0	0.2	0.2
○就業地不詳	91	4	—	1.3	0.0	—	1.3	0.0
●通学者総数	736	786	848	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
○自市区町村内	379	405	456	51.5	51.5	53.8	0.0	▲2.3
○他市区町村	350	381	392	47.5	48.5	46.2	▲1.0	2.3
（道内）	343	380	392	46.5	48.1	46.2	▲1.6	2.1
（道外）	7	1	—	1.0	0.1	—	0.9	0.1
○通学地不詳	7	—	—	1.0	—	—	1.0	—

（注）1 就業者・通学者の総数に係る実数は、従業地・通学地不詳を含む。

2 割合については、分母から従業地・通学地不詳を除いて算出している。

II. 男女・年齢・従業地別就業者

他市区町村への通勤者は、男性 987 人・女性 521 人

就業者のうち、従業地が他市町村である者の割合は、男性が 25.0%、女性が 16.9% であり、男性は女性に比べて他市町村への通勤割合が高くなっている。

年代別にみると、40～44 歳で男性 142 人、女性 91 人と共に他市町村を従業地とする者が多く、割合では男性 40～44 歳 33.9%、女性 20～24 歳 26.9%となった。

表2 男女・年齢（5歳階級）・従業地別 15歳以上就業者（平成27年調査）

男女・年齢 (5歳階級)	総数	自市区町村		他市区町村			就業地 不詳	
		自宅	自宅外	道内	道外			
総数	7,037	5,438	635	4,803	1,508	1,479	29	91
15～19歳	102	76	1	75	26	25	1	—
20～24歳	321	231	7	224	86	85	1	4
25～29歳	401	306	23	283	90	88	2	5
30～34歳	447	320	19	301	124	122	2	3
35～39歳	597	450	29	421	141	141	—	6
40～44歳	792	552	37	515	233	230	3	7
45～49歳	799	609	52	557	180	179	1	10
50～54歳	793	605	73	532	180	173	7	8
55～59歳	758	591	78	513	156	151	5	11
60～64歳	926	760	95	665	157	155	2	9
65歳以上	1,101	938	221	717	135	130	5	28
男	3,952	2,909	350	2,559	987	963	24	56
15～19歳	61	45	1	44	16	16	—	—
20～24歳	176	127	7	120	47	46	1	2
25～29歳	256	197	13	184	56	55	1	3
30～34歳	255	172	14	158	80	78	2	3
35～39歳	329	243	16	227	84	84	—	2
40～44歳	419	272	17	255	142	140	2	5
45～49歳	414	299	27	272	108	107	1	7
50～54歳	417	295	39	256	116	111	5	6
55～59歳	445	316	47	269	121	116	5	8
60～64歳	548	428	52	376	114	112	2	6
65歳以上	632	515	117	398	103	98	5	14
女	3,085	2,529	285	2,244	521	516	5	35
15～19歳	41	31	—	31	10	9	1	—
20～24歳	145	104	—	104	39	39	—	2
25～29歳	145	109	10	99	34	33	1	2
30～34歳	192	148	5	143	44	44	—	—
35～39歳	268	207	13	194	57	57	—	4
40～44歳	373	280	20	260	91	90	1	2
45～49歳	385	310	25	285	72	72	—	3
50～54歳	376	310	34	276	64	62	2	2
55～59歳	313	275	31	244	35	35	—	3
60～64歳	378	332	43	289	43	43	—	3
65歳以上	469	423	104	319	32	32	—	14

Ⅲ. 産業大分類・就業地別就業者

第1次産業では、自市区町村で従業する割合が95.1%

15歳以上の就業者の従業地を産業別で見ると、自市区町村で従業する者が第1次産業では686人(95.1%)、第2次産業1,503人(78.1%)、第3次産業3,240人(75.2%)となっている。

他市区町村を従業地とする者の多い産業は、①建設業245人(37.9%)、②医療・福祉229人(23.3%)、③卸売・小売業198人(23.3%)の順となっている。

他市区町村を従業地とする割合の高い産業は、①情報通信業78.9%(15人)、②運輸業41.7%(150人)、③建設業37.9%(245人)の順となっている。

表3 産業大分類・就業地別15歳以上就業者数(平成27年調査)

産業(大分類)	総数	自市区町村		他市区町村		従業地不詳		
		自宅	自宅外	道内	道外			
総数	7,037	5,438	635	4,803	1,508	1,479	29	91
第1次産業	721	686	188	498	32	31	1	3
農業	414	393	62	331	21	21	—	—
林業	49	47	—	47	2	2	—	—
漁業	258	246	126	120	9	8	1	3
第2次産業	1,923	1,503	112	1,391	415	399	16	5
鉱業	33	31	—	31	2	2	—	—
建設業	646	399	60	339	245	234	11	2
製造業	1,244	1,073	52	1,021	168	163	5	3
第3次産業	4,308	3,240	335	2,905	1,057	1,046	11	11
電気・ガス・熱供給・水道業	35	25	—	25	10	10	—	—
情報通信業	19	4	2	2	15	15	—	—
運輸業	360	209	10	199	150	147	3	1
卸売・小売業	850	649	92	557	198	197	1	3
金融・保険業	72	40	3	37	32	32	—	—
不動産業・物品賃貸業	39	24	6	18	15	14	1	—
学術研究・専門・技術サービス	64	41	20	21	23	21	2	—
飲食店・宿泊業	433	356	67	289	76	74	2	1
生活関連サービス、娯楽業	229	158	52	106	69	69	—	2
教育、学習支援	285	213	12	201	72	72	—	—
医療、福祉	983	752	31	721	229	228	1	2
複合サービス	65	43	1	42	22	22	—	—
サービス業(他に分類されないもの)	489	361	38	323	126	125	1	2
公務(他に分類されないもの)	385	365	1	364	20	20	—	—
分類不能の産業	85	9	—	9	4	3	1	72

IV. 昼夜間人口比率

昼夜間人口比率 101.5、流入人口が超過 271 人

昼夜間人口は、前回調査に続いて流入人口が超過となり比率が 100 を超えた。
北海道の市区町村別では、66 番目の数値となった。

表 4 昼間人口・夜間人口・昼夜間人口比率の推移

調査年次	昼間人口	夜間人口	昼夜間人口比率	昼夜間人口差
平成 2 年	22,439	23,185	96.8	▲746
平成 7 年	21,840	22,414	97.4	▲574
平成 12 年	21,387	21,658	98.7	▲271
平成 17 年	20,623	20,748	99.4	▲125
平成 22 年	19,399	19,376	100.1	23
平成 27 年	18,011	17,740	101.5	271

表 5 昼夜間人口比率 市町村順位（上位 10 位・平成 27 年調査）

順位		昼間人口	夜間人口	昼夜間人口比率	昼夜間人口差
1	泊 村	3,079	1,771	173.9	1,308
2	札幌市中央区	386,602	237,627	162.7	148,975
3	留寿都村	2,290	1,907	120.1	383
4	壮瞥町	3,389	2,922	116.0	467
5	占冠村	1,359	1,211	112.2	148
6	士幌町	6,870	6,132	112.0	738
7	音威子府村	928	832	111.5	96
8	厚真町	5,377	4,838	111.1	539
9	赤井川村	1,242	1,121	110.8	121
10	室蘭市	96,865	88,564	109.4	8,301
	白老町	18,011	17,740	101.5	271

表 6 流出口・流入人口 市町村順位（上位 10 位・平成 27 年調査）

順位	他市区町村への流出		他市区町村からの流入	
	市区町村名	流出口	市区町村名	流入人口
1	札幌市（全区）	453,530	札幌市（全区）	460,914
2	江別市	28,099	帯広市	18,442
3	北広島市	16,181	函館市	17,259
4	恵庭市	14,256	石狩市	16,526
5	石狩市	13,503	江別市	15,514
6	帯広市	11,815	北広島市	15,228
7	北斗市	11,393	千歳市	13,874
8	音更町	10,643	室蘭市	13,012
9	千歳市	10,384	小樽市	12,532
10	登別市	10,275	旭川市	12,318
	白老町	1,873	白老町	2,144